



スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



高松宮記念杯 第3回全日本
社会人バスケットボール
地域リーグチャンピオンシップ
JR東日本秋田PECKERS 優勝



2020年度 第1回全国U15
バスケットボール選手権大会
Jr.ウインターカップ2020-21
秋田市立城南中学校 優勝



令和2年度 全国高等学校総合体育大会
第70回全国高等学校スキー大会
ノルディックコンバインド
木村航大(花輪高) 優勝



【写真提供：JR東日本秋田バスケットボール部・JBA・県立花輪高等学校スキー部】

contents

- ◎小笠原直樹氏追悼、遺志を継いで…………… 2
- ◎チームAKITA強化・育成システム…………… 3
- ◎第1回全国U15バスケットボール選手権大会 優勝 …… 4
- ◎高松宮記念杯第3回全日本社会人バスケットボール
地域リーグチャンピオンシップ 優勝 …………… 5
- ◎全国高校総体(冬季大会)
中学生強化選手(指定証伝達)…………… 6
- ◎中学生強化選手育成事業
(中・高連携強化プロジェクト、競技力向上研修Ⅱ)… 7

- ◎日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰
トップアスリート雇用企業感謝状贈呈…………… 9
- ◎令和2年度秋田県スポーツ賞等受賞者……………10
- ◎TOKYO 2020 オリ・パラ ホストタウン ……………12
- ◎総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
県内スポーツの主なできごと・寄付者……………13
- ◎会議録(抄)・事務局だより……………14



訃報

小笠原 直 樹氏 (公益財団法人秋田県体育協会会長)

令和3年3月3日、病氣療養中のところ秋田市内の病院で死去。

故 小笠原 直樹氏のご功績を称え

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



1951年7月秋田県横手市に生を受ける。中央大学法学部卒
 1975年4月に秋田魁新報社に入社。
 2003年3月に取締役編集局長。
 2007年3月に常務取締役編集局長。
 2009年1月から19年3月まで代表取締役社長。
 2019年3月に取締役相談役。
 2020年3月からは相談役。

長きにわたりジャーナリストとして駆け抜け、その人柄や素晴らしいリーダーシップにより多くの要職を歴任。2015年6月から秋田県体育協会会長に就任した氏は、「スポーツ王国秋田の復活」を目標として精力的に活動を展開し、翌年には、日本スポーツマスターズ2016秋田大会実行委員会会長を務めるなど、秋田県のスポーツ推進に大きく貢献しました。

このほか、秋田経済同友会代表幹事、秋田県交通安全協会や秋田県書道連盟の会長などを歴任し幅広い分野で大きな役割を果たしました。



第73回国民体育大会激励会で(福井県) 堀井副知事(右)

新会長ごあいさつ

「遺志を継いで」

公益財団法人秋田県体育協会

会長 鶴田 有 司



去る3月3日、本会会長の小笠原直樹氏が御逝去いたしました。謹んで御冥福をお祈りいたします。

この度私は、小笠原直樹会長の後任として会長に就任いたしました。大任に身の引き締まる思いであります。

実は、前会長は私の1年先輩であり、小学校から高校までずっと一緒に過ごした時期がありました。若い頃から有能で実に落ち着き払っており、大変尊敬できる方でした。奇しくもこの秋田県体育協会で、会長・副会長という間柄で席を隣にさせていただくことになるとは思ってもありませんでしたし、光栄なことであります。

前会長は「スポーツ王国秋田の復活」を話題にすると「スポーツ競技には勝者もいれば、敗者もいる。勝敗だけがすべてではないのはもちろんだ。勝利主義に陥っているわけではないが、たかが順位、されど順位である。」また「スポーツに最も大切なことはフェアプレー精神、勝ち負けだけにとらわれない感動、美しき敗者も存在する。」と話しておられたものです。この上は、小笠原直樹前会長の遺志をしっかりと引き継ぎ「スポーツ立県秋田」の名のもと、秋田県のスポーツ推進に全力で努めていきます。各競技団体をはじめ関係各位の一層の御協力をお願いいたします。



チームAKITA強化・育成システム

○趣 旨

本県は、平成21年に「スポーツ立県あきた」を宣言し、秋田県スポーツ推進計画のもと、スポーツ王国復活に向け取り組みを強化してきた。

この計画の政策目標である「国民体育大会（以下「国体」という。）における天皇杯順位10位台（天皇杯得点1,000点以上）の成績を目指す。」ことの実現に向け、「チームAKITA1,000点プラン」（2018～2020）を策定し、競技力向上と次世代アスリートの発掘・育成などを重点として各種事業を実施してきたが、現行の強化制度では、県全体の少年種別強化に成果が現れていないなどの課題があった。

こうした課題を解決するため、これまで以上に県全体を視野に入れた国体少年種別の強化に取り組み、県内の競争力を高め、競技力向上を図ることにより、秋田県のスポーツをより堅固にする施策を一体的かつ総合的に推進することとする。

○定 義

チームAKITA強化・育成システムとは、競技団体ごとに中学校年代から高校年代までの一貫した指導体制のもと、県内あるいは各地区の優秀な選手からなる選抜チームを編成し、月に1回以上の定期的な練習会を行うなど、選手に質の高い指導と充実した練習環境を提供するものである。

さらに、本システムを補完する事業として、関係機関が実施する各種強化・支援事業等も関連付けるものとする。

○目 的

本システムの導入により、選手個々の競技力を向上させることで、県内の競争力を高めるとともに、併せて、優秀な指導者を養成することにより、本県ジュニア層全体のレベルアップを図り、国体において天皇杯順位10位台、天皇杯獲得得点1,000点以上を達成する。

○対象競技

対象競技は、公募により申請のあった競技団体に対して選定委員会による選定を経て、秋田県競技力向上連絡協議会の承認を受け、下記の9競技で実施することとなった。

- ・新体操（少年女子）
- ・スキー
- ・スピードスケート
- ・相撲
- ・バレーボール（少年男子）
- ・フェンシング
- ・ラグビーフットボール
- ・陸上競技
- ・レスリング

○支援事業

対象競技には下記の新規、拡充した支援事業の他に、現行強化支援事業を通じて、多角的に競技団体をサポートしていくことで、より充実したシステムの運用と競技力向上へ寄与していくこととする。

- ・チームAKITA指導者養成支援事業
指導者の上級資格（日本スポーツ協会コーチ3以上）取得の支援
- ・スポーツ指導者育成、中・高連携強化プロジェクト（指導者研修）
スポーツ医・科学的側面やスポーツインテグリティ等指導者への資質向上の支援
- ・チームAKITAジュニアハイパフォーマンスサポート事業
アスリート診断、栄養サポート、心理サポート等包括的な支援



— Jr. ウインターカップ 2020-21 —

2020年度第1回全国U15バスケットボール選手権大会
祝優勝

優勝&ベスト5選手インタビュー

バスケットボールでは、高校生年代の最高峰の大会に位置付けられるのがウインターカップである。そして、中学生年代における同大会とする「Jr.(ジュニア)ウインターカップ」の記念すべき第1回大会が、2021年1月4～7日の4日間において開催された。

公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA)では、U15世代いわゆる中学生年代の育成・強化環境のさらなる充実を図ることを目的にこの大会を新設。全国47都道府県における予選会では、クラブチーム・Bリーグクラブのユースチーム・中学校部活動チームそれぞれが、登録区分の垣根を超えて同じ土俵の上でのしを削り代表の座を争った。

そして、男女あわせて94の栄えある代表チームが、今回の戦いの場である東京・武蔵野の森総合スポーツプラザを会場に、トーナメント戦によるノックアウト方式で、文字通りU15カテゴリーの日本一を決する熱戦を繰り広げ、男子の部で本県代表の秋田市立城南中学校が、見事初代チャンピオンとしてその栄冠を手にした。



《キャプテン》
#4
中野 珠斗
(カノ シュウト)
ポイントガード

Q. 他県でナンバー1のチーム・選手たちと戦ってみてどうでしたか？

他のチームはドライブも速く、スキルも自分たちより高いように感じました。そんな中で自分たちは持ち前のチーム力・結束力を大事に頑張りました。

Q. 自分たちのバスケットボールが全国で通用したことをどう感じましたか？

日々練習してきたジャンプシュートと、システムがとても通用しました。ここぞというときに点が入り、日々の積み重ねを発揮することができて安心しました。

Q. キャプテンとしてチームメイトとはこれまでどのように向き合ってきましたか？

個性豊かなチームなので、一人一人に合った接し方を心がけました。他は、自分から手本となるような行動をするなど、周りのことを常に考えていました。キャプテンとして積極的に声を出し、みんなを引っ張っていくこと、どのようにしたらみんなのやる気が増すかなど、家に帰ってからも頭の中は部活のことです。

Q. 優勝して改めて感じたバスケットボールの醍醐味を教えてください

チームのみんなで喜びを分かち合うことができ、達成感を得ることができました。同じ学校の部活動のチームということもあり、他のクラブチームよりも仲が良く、楽しくバスケットをすることができました。難しく、苦勞することもあるけれども、最後には「勝ちたい」という思いが勝り、楽しかったです。

Q. 今大会のベスト5選手に選出されましたが、その要因はどこにあったと思いますか？

小 川：チームの皆がいいところでボールを渡してくれました。その結果、気持ちよくシュートを打ち、決めることができました。それが一番の要因だと思います。
佐々木：平均的に点数が取れて、アシストも多く出来たことが主な要因だと思います。また相手チームのエースを止められたこともあると思います。

Q. 優勝して改めて感じたバスケットボールの醍醐味を教えてください。

小 川：バスケットボールは、失敗してもまたすぐ挑戦することができる場所です。挑戦して、シュートが入ったときの達成感、もう最高です。5人でどうやって2点を取るかを考えてプレーすることなど、楽しさを沢山感じました。
佐々木：バスケットボールは、シュートを決めることももちろん楽しいですが、相手チームのオフェンスを止めて、速攻をかけて点数をとることが一番の醍醐味だと思います。



《ベスト5選出》
#5
小川 瑛次郎
(オガワ エイジロウ)
センターフォワード



《ベスト5選出》
#6
佐々木 陸
(ササキ リキ)
パワーフォワード



《監督》
栄田 直宏
(サカエ ナオヒロ)

Q. 今般のコロナ禍の前と後で、この大会に向けた目的意識にはどのような変化がありましたか？

昨年3月から日常的な練習も制限され、力のある年代だったため残念に思い、3年生たちが残りの期間の中で、実力を披露できる機会がないだろうかと思い悩んでいました。3年生14名のうち7名は中総体の代替試合をもって受験に専念するとして引退。11月に福島県泉崎村に遠征に行き、Jr. ウインターカップに出場するチームらと対戦しました。それまでの大会が行われていないため、どのチームがどんな特徴をもっているのかをそこで初めて知ることになり、また自分たちの実力が通用するのを感じ取ってから、選手たちは更に大会に向けて前向きになった気がします。

Q. 今回の結果に結びついた要因のうち、最も大きな要因は何でしたか？

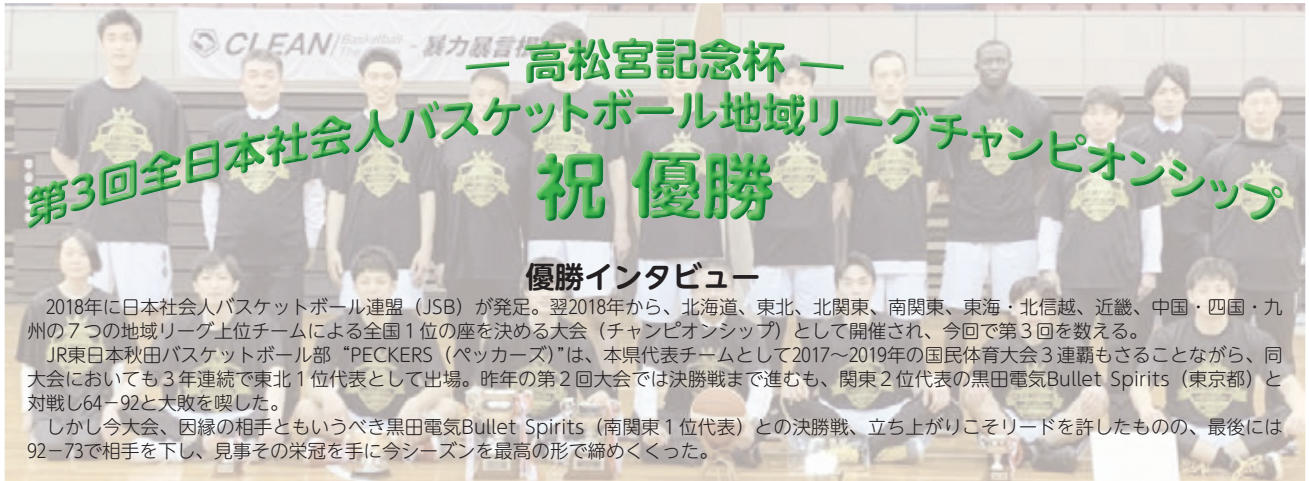
まずはこの3年間で大きなケガがなかったことだと思います。また県予選・本大会とも勝ち上がるにつれダブルヘッダーが続き、体力もつか、足がつかを心配しました。休むこと、食べることなどに気を使いました。5試合=20クォーターの戦いだと言い聞かせ、戦術もセットプレーを多くし、少しゆっくりめの試合展開をねらい、何とか最後まで戦い抜くことができました。日頃の練習内容から試合に活かしたことはシュート力です。ミドルレンジ、フリースロー、3ポイント、ゴール下の工夫等、とにかくシュートに関しての練習を多くしていました。U15チームやクラブチームは人材が豊富で、サイズも能力も上と感じました。選手が集められる環境にある部活動チームなので、結束力+組織力を高め、実力発揮を促すのが私の仕事と感じていました。

Q. 選手たちに、今回の結果を得たことによって一番大切にしてもらいたいことは何ですか？

今回は全国制覇につながりましたが、この先、結果が良い時、調子が良い時ばかりではありません。周囲の足音に耳をすまさないといけないと思いますし、上には上がいるということも忘れてはならないと思います。今回の結果よりも、これまで仲間と一緒にやってきたこと、チームのテーマでもあった「結束」という言葉を忘れず、自分の努力と周囲との協力をこれからも大切にしていきたいです。



【本ページで使用する大会写真は日本バスケットボール協会提供】



優勝インタビュー

2018年に日本社会人バスケットボール連盟（JSB）が発足。翌2018年から、北海道、東北、北関東、南関東、東海・北信越、近畿、中国・四国・九州の7つの地域リーグ上位チームによる全国1位の座を決める大会（チャンピオンシップ）として開催され、今回で第3回を数える。

JR東日本秋田バスケットボール部「PECKERS（ペッカーズ）」は、本県代表チームとして2017～2019年の国民体育大会3連覇もさることながら、同大会においても3年連続で東北1位代表として出場。昨年の第2回大会では決勝戦まで進むも、関東2位代表の黒田電気Bullet Spirits（東京都）と対戦し64-92と大敗を喫した。

しかし今大会、因縁の相手ともいべき黒田電気Bullet Spirits（南関東1位代表）との決勝戦、立ち上がりこそリードを許したものの、最後には92-73で相手を下し、見事その栄冠を手に今シーズンを最高の形で締めくくった。



ヘッドコーチ
黒政 成広
入社18年目
(HC歴3年目)

《ヘッドコーチへのインタビュー》

Q. 今大会で優勝を決めた最も大きな要因は何でしたか？

ディフェンスが有効に機能したと思います。昨年の決勝ではチームの持ち味であるはずのディフェンスに強さと激しさが不足していると感じました。私自身、練習内容及びチームルールの見直しが必要と気づかされました。今年は、ポジションに関係なく、選手全員が相手との間合いを詰め、相手に体をぶつけながらひとつのボールを守りきることができました。

Q. 多くの大会が中止になり、遠征なども思うようにできない1年でしたが、それでもチーム力を全国1位まで押し上げた要因は何ですか？

試合ができない分、自分たちの練習の質を上げる努力をしました。特に選手同士が鼓舞し合うこと、選手自身の熱量を上げること、練習強度を上げること選手に意識してもらいました。継続することにより練習への取り組み姿勢がチームとして向上することができました。引き続き、私も選手も質の向上を追求していきたいです。

Q. 世界中がコロナ禍により大きく左右された年でしたが、選手たちのモチベーションをどうやって維持しましたか？

個人に期待するプレイを今まで以上に明確にしました。選手たちは自身の力をコート上にすべて出し切らなければならないスキルを身に付けるための練習を積極的にしてくれました。ミーティングの中では映像での振り返りを多くしました。よくなってきた部分の確認をし、成果を実感することができたことで、選手は次の練習への意欲を持ってくれたと思います。

Q. 例年と大きく違った今シーズン、自身のモチベーションはどうやって維持してきましたか？

応援してくださる方々への恩返しは優勝しかないと思っていました。とにかく優勝することだけを考え、日々の練習に取り組みました。

Q. 今般のコロナ禍で、例年とは違ったチーム作り・選手強化を通して得たもの・見えたことはありますか？

ディフェンス強化及びディフェンスがチームの生命線であることを強く選手に意識してもらうために様々な練習メニューを試しました。その中でもすぐに成果が表れるメニューや時間がかかっても絶対に継続しなければならないメニューなどを認識することができ、私自身、とても勉強になった1年でした。

Q. 選手とコミュニケーションをとる際に大切にしていることや楽しみにしていることはありますか？

本音で話すことを常に意識しています。かけ引きなどせず、自分の思いを素直に伝えます。

《キャプテンへのインタビュー》

Q. 今大会で優勝を決めた最も大きな要因は何でしたか？

相手のペースで厳しい時間帯もありましたが、どの試合も練習してきたことや自分たちのバスケットを信じ最後まで戦い抜くことができました。また、大会を通じてチームの成長を1試合1試合実感することができ、その試合の中での成長が優勝を決めた大きな要因だと感じています。

Q. コロナ禍の今年1年、チーム内ではどうやってモチベーションを維持してきましたか？

限られた活動しかできない中で、それをマイナスにとらえるのではなく、選手一人ひとりが今だからこそできることへ目を向け、少しでもプラスに考えモチベーションを維持してきました。また、バスケットができることへの感謝と、それを後押ししてくれた方への感謝の気持ちを忘れず活動してきました。

Q. 選手として日頃から大切にしていることは何ですか？

コロナ禍で遠征等ができず、日々の練習の成果がそのまま試合のパフォーマンスに直結します。そのため、今シーズンは特に日々の練習から試合をイメージし「試合のための練習をする」ということを意識しました。

Q. チームのキャプテンとして、日頃から大切にしていることは何ですか？

練習の中で、チームのモチベーションを下げてしまわないような声かけや、自分の意見も伝えつつ相手がどうしたかったのかを聞くなど、コミュニケーションの取り方を大切にしています。

Q. 社会人として、日頃から大切にしていることは何ですか？

業務に対し責任感を持って取り組んでいます。また、試合等で会社を不在にすることも多いため、その業務が今どういう状況なのかを報告・連絡・相談し、上司とこまめにコミュニケーションをとることを心掛けています。

Q. 社会人として働きながらも同時に高いレベルでスポーツを続けている中で学んだことと、そう在り続けることの意義をどう考えていますか？

「仕事」と「スポーツ」この2つには共通点が多くあると感じています。目標を達成したり結果を出すためにはそれぞれの過程が重要だということ、良いもの良いチームを作っていくためにはチームワークやコミュニケーションが大切だということなどです。私は今、仕事とスポーツを通じて今後のキャリアに必要な人間力を養うことができている。今後もこの2つから多くのことを学び、相互に活かしていけるよう励んでいきたいです。

Q. 今後数年先を見たときの選手としての自身の目標は何ですか？

私の声かけやプレイで、チームを引っ張っていきけるような選手を目指していきたいです。また、常日頃私たちを支え応援してくださる多くの方々に、元氣や感動を与えられるような選手を目指していきたいと思っています。



キャプテン
柳澤 洸太
入社5年目





令和2年度全国高等学校総合体育大会(冬季大会) 第70回全国高等学校スキー大会 秋田県選手上位成績一覧

《開催地》長野県 《期日》令和3年2月6日(土)～10日(水)
アルペン(スラローム・ジャイアントスラローム):戸狩温泉スキー場
クロスカントリー、コンバインドクロスカントリー:長峰スポーツ公園
スペシャルジャンプ、コンバインドジャンプ:市営飯山ジャンツェ

《優勝インタビュー》

木村 航大(私立 駒ヶ丘) 3年 競技歴:5年



Q. 今年度のインターハイで優勝を飾るまでの約1年
間を振り返って、今はどのような思いですか?

コロナ禍により、春から通常練習も出来ない日々が続きました。目標であったインターハイの開催も危ぶまれる中、開催に向けご準備いただき、飯山の地で優勝することが出来たことは本当に嬉しく思います。

オフシーズンの北海道での強化合宿も出来ず、不安要素が多くありましたが、その分自分と向き合う時間が増えたことで、体幹強化など自分に必要な練習を工夫して出来たと思います。

大会4日前の現地入りで、ジャンプ台、クロスカントリーコースともに初めてということもあり、限られた時間でコースの特徴を掴みとれるよう監督とやりとりしました。そして優勝することが出来、これまでのスキー人生の中で最高の瞬間でした。

これまで競技を続けられたことは、監督、コーチ他、多くの方々の支えがあったからです。コロナ禍で競技に向き合うことを経験して、改めて感謝の気持ちが強くなりました。これからは、この経験を活かし誰かを支えられる人材になれるよう頑張りたいと思います。

No.	種目	成績	性別	学校名・名前・学年
1	ノルディックコンバインド	1位	男	花輪 木村 航大 ③
2	リレー 10km×4	3位	男	花輪 古田 柊斗 ①
				花輪 花岡 翔太 ②
				花輪 畠山 侑也 ③
				花輪 木村 航大 ③
3	リレー 5km×3	3位	女	花輪 小鮎 玲愛 ①
				花輪 畠山 香恋 ①
				花輪 澤田 羽夏 ③
4	リレー 10km×4	4位	男	秋田北鷹 大坂 陽斗 ①
				秋田北鷹 堀部 慈生 ③
				秋田北鷹 山田 龍輔 ③
				秋田北鷹 布谷 航斗 ①
5	リレー 5km×3	4位	女	秋田北鷹 畔上 凜花 ②
				秋田北鷹 近藤 さくら ②
				秋田北鷹 山田 智子 ②
6	ノルディックコンバインド	6位	男	花輪 成田 健太 ②
7	クロスカントリー5kmフリー	8位	女	花輪 畠山 香恋 ①
8	ジャイアントスラローム	8位	女	角館 中村 祐希 ①
9	スペシャルジャンプ	10位	男	花輪 成田 健太 ②
10	学校対抗	4位	男	花輪高等学校

※10位まで入賞

第19期秋田県中学生強化選手の指定証伝達

平成23年度にスタートした秋田県中学生強化選手制度は、11月に第19期となる選手が指定されました。

秋田県、秋田県教育委員会及び秋田県体育協会の3者連名によるこの制度は、各競技団体が主催する強化練習や合宿、秋田県体育協会が主催する強化事業に参加できるほか、毎年様々なプログラムを受けることができます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、秋田県中学生強化選手の選考基準となる各種大会が中止・縮小される中、第19期秋田県中学生強化選手に指定されたのは、2競技の4名となりました。これまでに延べ1,017名が指定を受けており、高校進学後に全国制覇を成し遂げる選手も輩出するなど、中学・高校年代の育成の一助となっています。例年は、指定証交付式を挙行し、同時にドクター等による選手のメディカルチェックや保護者プログラムを開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となりました。代わりに選手は各学校での指定証伝達を受け、各家庭でウェブ配信によるメンタルトレーニングやスポーツ栄養学の講義を受講しました。



工藤李桜選手
(秋田市立秋田北中3年 バレーボール)



山本由菜選手
(大館市立東中2年 陸上競技)



齊藤菜月選手
(秋田市立土崎中3年 バレーボール)



齊藤美月選手
(秋田市立土崎中3年 バレーボール)



令和2年度秋田県中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト

指導者研修～ウェブ配信～

本県の競技力向上を目指した中・高一貫指導体制を発展させるため、指導者間におけるカテゴリーの枠を越えた連携と指導者の技術・情報等を共有し、各競技団体の競技力向上につなげる本研修は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、研修実施以来初のウェブ配信型の研修として実施しました。配信期間の中で、指導者が自身の都合の良い時間で受講できるメリットがあることから、参加者は30競技35種目80名となり、例年の参加者数を大幅に超える指導者が研鑽を深めました。

プログラム1 中学生強化選手・強化拠点校選手のパフォーマンステスト結果から見た傾向と全国との比較… 株式会社ウィングート 遠山 健太氏



中学生強化選手96名と、秋田県高等学校強化拠点校選手66名の測定データを全国のジュニアアスリートと比較・検証し、さまざまなウィークポイントが洗い出されました。中でも、アジリティ能力は、秋田県の課題として未だ脱却できておらず、今後のトレーニングにおいて、優先的に取り組むべきとのことでした。また、昨年の課題であった下半身の柔軟性はやや改善傾向にあったものの、上半身の柔軟性が低下しているとの指摘を受けました。分析を行った遠山健太講師からは「ストレッチは全身バランス良く行い、最低でも月1回はチーム等で計測し、セルフコンディショニングに努めてほしい」とのアドバイスをいただきました。

プログラム2 「パフォーマンステスト」から見る弱点を克服するためのトレーニング方法… 株式会社ウィングート 遠山 健太氏



プログラム1で洗い出された課題克服のトレーニングとして、「ウィングングエクササイズ」と「クックスワットエクササイズ」の実践を行いました。「ウィングングエクササイズ」とは、肩甲骨周りや胸椎の柔軟性を改善するトレーニングで、この部位の可動域を広げることで、投げる動作や打つ動作、押す動作のパフォーマンスアップが狙えます。「クックスワットエクササイズ」とは、股関節周りの柔軟性を改善するトレーニングで、バリエーションが豊富なトレーニングであるため、様々な競技特性に応用できます。どちらも、広いスペースは必要なく、自宅でも、1人でも取り組めるトレーニングであることから、依然続いているコロナ禍でも取り組みやすいものとなっています。

プログラム3 「将来につながる育成年代のコーチング」… 日本体育大学体育学部体育学科教授 伊藤 雅充氏



最後のプログラムは、ジュニアアスリートに携わる指導者がどのように選手にアプローチするべきか、「GROW」モデルを例に解説していただきました。「GROW」とはGOAL=何をやろうとしたか、REALITY=実際はどうだ、OPTION=よりうまくやる方法はないか、WILL=次は何を意識するか、という4つのアプローチで、選手の主体性や創造性を育てるコーチングの発問です。継続的に実践することで、選手が自ら考えるようになり、コミュニケーションも円滑になります。受講した指導者からは、「コーチが良い環境の1つとなれるよう、指導者として成長したい」などとポジティブな感想が多数見受けられました。



令和2年度秋田県中学生強化選手育成事業 競技力向上研修Ⅱ～ウェブ配信～

秋田県ジュニアアスリートのウィークポイントを克服する「競技力向上研修Ⅱ」が開催され、秋田県中学生強化選手、秋田県高等学校強化拠点校選手、各競技団体強化担当者など、総勢214名が参加しました。今年度最後の強化育成事業は実地での研修を願っていましたが、県内の新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、ウェブ配信で実施しました。講師はサッカー日本女子代表「なでしこジャパン」のフィジカルコーチを務め、2012年ロンドンオリンピック準優勝に導いた広瀬統一教授（早稲田大学スポーツ科学学術院）が、さまざまなトレーニング方法を動画で指導・解説してくださいました。

◇アジリティトレーニング



コアアクティベーション



ドロップスクワット



ウォールスライド

◇パワートレーニング



スプリットジャンプ



バンザイジャンプ



片足立ち幅跳び

◇可動性トレーニング



足首曲げ伸ばし



四股踏み横揺らし



胸郭開き

指導・解説していただいたトレーニングは上記の他にも多数あり、各競技において応用できる内容でした。参加した選手や指導者からは、「自競技に役立つトレーニング方法が詳しく説明されていて為になった」、「トレーニングが目的ごとに分類されていて、何を高めるものなのかを理解した上で学べるのが良かった」と喜びの声が多く聞かれました。来年度こそは通常開催となり、より充実した研修となるよう準備を進めていきます。



令和2年度 公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者等表彰受賞者

永年にわたり、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展、その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績が認められた公益財団法人秋田県体育協会から推薦を受けた3名が受賞しました。

原 田 利 雄 様 (バドミントンコーチ4)

梅 津 恭 子 様 (なぎなたコーチ1)

高 田 恵美子 様 (なぎなたコーチ1)

トップアスリートの雇用企業に対して感謝状を贈呈しました

公益財団法人秋田県体育協会では、平成28年7月に厚生労働大臣の認可を受けて、「秋田トップアスリート無料職業紹介所」を県体協内に開設し、秋田に就職し、競技活動を継続できるようにアスリートと企業のマッチングサポート事業を実施しており、これまで14人のアスリートと13社とのマッチングが成立しました。

このたび、令和2年度、本事業により、トップアスリートを雇用していただいた企業に対して「アスリートの雇用に深い理解を示され、本県スポーツの競技力向上と普及・振興に多大なる貢献をされた」として、令和2年度秋田県スポーツ賞等表彰式（令和3年3月25日開催）にて感謝状を贈呈しました。

株式会社 加藤建設（本社：男鹿市）
代表取締役 加藤 正己 様

万六建設 株式会社（本社：仙北市）
代表取締役 田中 恒雄 様

株式会社 エイジェック（本社：東京都）
代表取締役社長 古後 昌彦 様



令和2年度

人見スポーツ賞受賞者

『成績だけでなく、当該年度に、スポーツのよさ、美しさ等を発揮して県民に深い感動を与え、強く心をひきつけたもの』



○個人の部

小 だて み ほん 館 充 華 (陸上競技・流通経済大学 4年)

- 天皇賜杯第89回日本学生陸上競技対校選手権大会
女子ハンマー投げ 第1位

○団体の部

J R 東日本秋田バスケットボール部
ペッカーズ



- 高松宮記念杯第3回全日本社会人バスケットボール
地域リーグチャンピオンシップ 第1位

【写真提供：(株)秋田魁新報社】

辻ジュニアスポーツ大賞受賞者

『技量優秀で、将来性が認められるもの』



○団体の部

秋田市立城南中学校
男子バスケットボール部

- 2020年度第1回全国U15バスケットボール選手権大会
第1位

【写真提供：(公財)日本バスケットボール協会】

蒔苗スポーツ指導者賞

『長年にわたり、指導、育成に情熱を注ぎトップレベルのアスリートの礎を支えてきた指導者や支援者』



さかえ だ なお ひろ 栄 田 直 宏 (秋田市立城南中学校男子バスケットボール部ヘッドコーチ)

- 2020年度第1回全国U15バスケットボール選手権大会 第1位

【写真提供：(株)秋田魁新報社】



令和2年度秋田県スポーツ賞受賞者

◆ 功 勞 賞 ◆



羽山 正志
一般社団法人秋田県サッカー協会副会長



高橋 篤志
秋田県体操協会顧問



小林 敏明
一般社団法人秋田県バスケットボール協会顧問



山田 義輝
秋田県白転車競技連盟参与



伊藤 綏之
秋田県柔道連盟名誉会長

◆ 栄 誉 賞 ◆



田村 和男
秋田県ゴルフ連盟理事



遠藤 正幸
一般財団法人秋田市体育協会顧問



伊藤 徳昭
由利本荘市卓球協会名誉副会長



高橋 隆治
美郷町体育協会前副会長

栄 光 賞

【個人の部】

小 舘 充 華	陸上	流通経済大学	4年
茂 内 さくら	ボート	早稲田大学	2年
吉 田 大 夢	レスリング	中京学院大学	2年
島 谷 侃	レスリング	早稲田大学	2年
山 田 修太郎	レスリング	山梨学院大学	3年
櫻 庭 功 大	レスリング	自衛隊体育学校	
吉 川 航 平	レスリング	秋田商業高校(教)	
米 澤 圭	レスリング	住友金属鉱山(株)	
木 村 航 大	スキー	花輪高校	3年

◆ 生涯スポーツ賞 ◆【個人】



松田 三男
本荘由利バレーボール協会顧問



簾内 照光
秋田県グラウンドゴルフ協会副会長

栄 光 賞

【団体の部】

令和2年度全国高等学校総合体育大会
第70回全国高等学校スキー大会

花輪高校 男子リレーチーム

監 督	浅 利 優 一	花輪高校	
選 手	古 田 柊 斗	花輪高校	1年
選 手	花 岡 翔 太	花輪高校	2年
選 手	畠 山 侑 也	花輪高校	3年
選 手	木 村 航 大	花輪高校	3年

令和2年度全国高等学校総合体育大会
第70回全国高等学校スキー大会

花輪高校 女子リレーチーム

監 督	浅 利 優 一	花輪高校	
選 手	小 鮎 玲 愛	花輪高校	1年
選 手	畠 山 香 恋	花輪高校	1年
選 手	澤 田 羽 夏	花輪高校	3年

奨 励 賞

【個人の部】

畔 上 凜 花	スキー	秋田北鷹高校	1年 (大会時)
榎 春 音	ライフル	秋田大学教育文化学部附属中学校	3年



奨励賞 【団体の部】

2020年度 第1回 全国U15バスケットボール選手権大会
Jr.ウィンターカップ2020-21
秋田市立城南中学校 男子バスケットボール部

高松宮記念杯 第3回 全日本社会人バスケットボール
地域リーグチャンピオンシップ
JR東日本秋田バスケットボール部 ペッカーズ

令和2年度 受賞者数一覧

賞	個人	団体
人見スポーツ賞	1名	1団体
辻ジュニアスポーツ大賞		1団体
蒔苗スポーツ指導者賞	1名	
合計	2名	2団体

賞	個人	団体
功労賞	6名	
栄誉賞	3名	
生涯スポーツ賞	2名	
栄光賞	9名	2団体 9名
奨励賞	2名	2団体 40名
合計	22名	4団体 49名

TOKYO2020

オリンピック パラリンピック

コロナウイルス感染症の感染拡大により、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが、いよいよ今年の7月23日から開催される予定です。待望のワクチンが我が国そして我が県にも届き、接種がスタートしました。

このワクチンが、東京2020大会開催に向けて追い風になり、安心・安全な大会が開催できることを祈るばかりです。

能代市 ホストタウン登録の決定!! ヨルダン・ハシェミット王国

能代市とヨルダン・ハシェミット王国（以下「ヨルダン」という。）は、再生可能エネルギーや観光に力を入れているなど、政策面での共通部分が多いことや両地域に「世界遺産」を共通して有していることなどから、2019年8月30日にホストタウン登録に至りました。

能代市のホストタウンとしての強みは、一国の一競技団体との接点ではなく、一国との繋がりを持っていることです。この強みを活かし、まずは事前合宿の受け入れを実現し（2021年3月末時点で合意には至っていない）、大会前後のスポーツ交流を通して、子供たちがスポーツ選手を目指すきっかけとなり、将来は日本を代表する選手になってくれることを期待しています。

また、国際交流の少なかった能代市にとって、このホストタウン交流は絶好の機会と捉えており、将来的には、小中高生のスポーツ交流、交換留学等の教育交流、観光や企業人材の行き来などの経済交流といった様々な事業を展開し、市民レベルの国際交流や地域活性化につなげていくことを目的としています。

能代市環境産業部観光振興課観光振興係の小野弘樹主査は、「今後も市民にヨルダンを知ってもらうため、様々な交流を企画し、障がいの有無、老若男女問わず、多くの市民に参加してもらい、ホストタウン事業への理解者や協力者を増やしながら、今夏万全の体制でヨルダンの皆さんを迎え入れたい。」と話していました。



パートナーシップ協定締結
(向かって左がリーナ・アンナブ駐日ヨルダン大使、右が斉藤市長)



ヨルダン選手と能代松陽高校の空手交流



ヨルダン空手選手と能代松陽高校の書道交流



秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

～地区交流会・全県研修会～

今年度予定していた事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止並びに事業方法を変更して開催しました。地区交流会はコロナ禍の状況を見ながら県南地区、県北地区の地区毎の総合型クラブ連携による開催となりました。東京2020大会のパラリンピック種目にもなっているボッチャ研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら、修武館土崎スポーツクラブが主管クラブとなって当初の計画通り開催しました。(各事業とも3密対策で、参加人数を制限しました。)

- 県南地区クラブ交流会 《11月6日(金)》 県南地区総合型クラブ連携事業
 [主管クラブ] NPO法人こまちハート・オブ・ゴールド
 [主会場] 湯沢市雄勝スポーツセンター(旧秋ノ宮小学校)
 [参加状況] 8クラブ参加、参加者13名
 [事業内容] 菅首相生誕の地・生家見学ウォーキング並びに秋ノ宮を散策
- 総合型クラブ「ボッチャ研修会」 《11月21日(土)》 全県総合型クラブ対象事業
 [主管クラブ] 修武館土崎スポーツクラブ
 [会場] 秋田県スポーツ科学センター・3階体育場
 [参加状況] 7クラブ参加、参加者29名
 [事業内容] ボッチャ競技の研修会
 [講師] 佐藤慶子スポーツ推進員(秋田県障害者スポーツ協会)
- 県北地区クラブ交流会 《11月29日(日)》 県北地区総合型クラブ連携事業
 [主管クラブ] スポーツクラブひない
 [会場] 大館市立比内体育館
 [参加状況] 6クラブ参加、参加者36名
 [事業内容] ラージボール卓球



湯沢市雄勝スポーツセンター正面玄関



湯沢市秋ノ宮地区(11/6)



秋田県スポーツ科学センター(11/21)



大館市立比内体育館(11/29)

県内スポーツの主なできごと

- 12月
- 6日 リオデジャネイロ五輪マラソン男子代表の佐々木悟(大仙市出身)が現役引退を表明
 - 18日 レスリングの全日本選手権グレコローマンスタイル77kg級の櫻庭功大(秋田商高出身)とフリースタイル65kg級の米澤圭(秋田商高出身)がいずれも3位
 - 19日 レスリングの全日本選手権グレコローマンスタイル63kg級で吉川航平(秋田商高教諭)が3位
 - 20日 ボクシング東日本新人王ミニマム級で佐々木凌(秋田市出身)が王座に就く
 - 21日 ブラウブリッツ秋田の吉田謙監督がJ3優勝監督賞を受賞、チームはフェアプレー賞に選出(4年連続5度目)
 - 27日 バドミントンの全日本総合選手権で永原・松本組(北都銀行)が準優勝。米元・田中組(北都銀行)が3位
- 1月
- 7日 第1回全国U15バスケットボール選手権男子で城南中学校が優勝し、初代王者となる
 - 7日 フェンシングのJOCジュニアオリンピックカップ女子エペで齋藤華南(秋田商高3年)が準優勝
 - 16日 障害者スポーツの強化チーム運営などを担う新組織「県チャレンジド・スポーツ連盟」の設立総会が開かれる
 - 18日 日本中学校体育連盟は冬季の中学校体育大会を中止すると発表
 - 22日 第76回国民体育大会冬季スケート競技会の本県選手団の出場辞退を発表
 - 28日 「ヨネタナ」の愛称で親しまれた、北都銀行バドミントン女子ダブルスの米元小春・田中志穂が引退を発表
- 2月
- 1日 日本スポーツ協会は第76回国民体育大会冬季スキー競技会「美の国あきた鹿角国体」の開催中止を発表
 - 1日 全日本学生スキー連盟は第94回全日本学生スキー選手権(会場:花輪スキー場)の開催中止を発表
 - 8日 第70回全国高校スキー大会の複合で木村航大(花輪高3年)が優勝
 - 10日 スキーの全日本学生アルペンチャンピオン大会女子大回転で石塚結(角館高出身)が優勝
 - 10日 第70回全国高校スキー大会リレーで男女ともに花輪高校が3位、秋田北鷹高校が4位。学校対抗の男子では花輪高校が4位
 - 22日 バスケットボールの第3回全日本社会人地域リーグチャンピオンシップで男子のJR東日本秋田が初優勝
 - 22日 バレーボール女子日本代表候補に佐藤美弥(聖霊高出身)と吉野優理(由利高出身)が選出された

秋田県体育協会への御寄付のお願い

本県スポーツの推進と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を実施する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。公益財団法人への寄付は、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入(法人の場合)等の特例対象となります。スポーツ立県を支え、実現していくために多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

令和2年12月1日から令和3年3月19日までの間、寄付申込みをいただいた【法人・団体・個人】を御紹介します。(敬称は略させていただきます。)
【法人】 株式会社秋田魁新報社



会議録(抄)

12月15日 第1回臨時理事会

- ・評議員の選任について
- ・第76回国民体育大会冬季大会秋田県選手団本部役員について
- ・令和2年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰受賞者について
- ・寄附金の申込状況について
- ・次期役員（理事会推薦の理事候補者）の選出方法（案）について

1月14日 第2回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第1次審査

1月20日 秋田県スポーツ賞第1回選考委員会

2月17日 第2回総務企画委員会

2月25日 第3回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第2次審査
- ・人見スポーツ賞、畠沢国体賞、辻ジュニアスポーツ賞、蒔苗スポーツ指導者賞候補者について
- ・第16回日本スポーツグランプリ候補者の推薦について

2月26日 第2回強化委員会

- ・第76回国民体育大会冬季大会について
- ・テクニカルアドバイザーの採用について
- ・社会人スポーツ強化チームの指定について
- ・秋田県高等学校強化拠点校制度について
- ・チームAKITA1000点プラン終了に伴う次年度以降の対応について
- ・今年度の本会主催強化事業について

令和3年度 手続やお問い合わせはこちら

◎総務課 018-864-8090 FAX 018-864-5752

- オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金
- バスケットボール競技普及等助成金
- 県民体育大会開催事業交付金
- 寄付金及び協賛金
- 飲料水販売等の収益事業に関すること
- スポーツ安全保険【スポーツ安全協会秋田県支部 018-883-0360】

◎スポーツ推進課 018-864-8094

- 総合型地域スポーツクラブに関すること
- チャレンジデーに関すること
- 国際交流事業
- 秋田県スポーツ賞等各種表彰に関すること
- 指導者の養成に関すること
- 後援の承認
- 周年記念事業に関すること
- その他生涯スポーツに関すること
- トップアスリート無料職業紹介事業

◎競技力向上対策課 018-864-8091

- 競技力向上に関すること
- チームAKITA強化・育成システムや中学生強化選手関連事業
- 国体や東北総体への参加手続に関すること
- スポーツ医・科学やドーピング防止に関すること

◎スポーツ少年団室 018-866-3916

- ・スポーツ少年団登録事務
- ・スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会
- ・その他スポーツ少年団に関すること



編集後記

小笠原直樹前会長の急逝に、職員一同、落胆と深い悲しみに包まれました。いつまでも悲嘆に暮れている訳にはいきません。前会長は「スポーツ王国秋田の復活」に向け奮起を誓っていました。小笠原前会長の遺志に応えるべく、職員一同、今こそ一致団結して邁進してまいります。ご冥福をお祈りいたします。

今年度は、新型コロナウイルスの影響から、各種大会の開催延期や中止が相次ぎとても悔しい1年となりました。「冬の感動ふたたび」と、開催地の鹿角市民や多くの関係者が一丸となって準備してきた「美の国あきた鹿角国体」も例外ではありませんでした。2年連続となる来年度の「美の国あきた鹿角国体」こそは、躍動溢れる熱戦が、そして感動が織りなす素晴らしい大会になるものと信じております。最後に、本誌の発行にあたり、御多用の折、取材・原稿執筆、写真の提供など御協力くださいました皆様、ありがとうございました。



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 … に

ア リ ナ ム 宿 泊 ラ 室
ト レ ニ ン グ ル ー ム ン シ ャ ン
温 水 プ ー ル 室 ス ト ラ 浴
研 修 ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム (サウナ有)



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322

駄菓子・ワジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

問屋

しもむら

駄菓子のしもむら 検索

☎018-832-6766



資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 洸士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

地域の発展とともに
株式会社湯沢生コン
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策



税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一
税理士 菅 谷 浩

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022
菅谷会計 / 秋田市土崎港東二丁目16番24号 Tel.018-845-5648

インスタマガジン公開中!!

これまでも
これからも
秋田米

＃秋田農家ごはん

スペシャルサイトはこちら



美人を育む秋田米
あきたこまち

JAグループ秋田・JA全農あきた



想
像
か
ら
創
造
へ

あらゆるニーズにお応えする

松原印刷社

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
TEL 018-862-8760
FAX 018-863-0005

http://www.matsubarainsatsu.co.jp



スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故/往復中の事故



保険期間

令和3年4月1日午前0時から
令和4年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	事故の日からその日を含めて180日以内 入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生以下) ※特別支援学校 高等部の生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	
					100万円	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ※右記年齢の判断は、「令和3年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円) ⚠️自動車事故によって賠償責任を負った場合は、補償の対象なりません。	180万円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象なりません。	B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
		A2 A2区分は65歳以上の方も加入できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

TEL **018-883-0360** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。

スポーツ安全保険 **検索**



この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室 ☎ **0120-233-801**
(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和3年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIIG損保